

記者会見するAMDA医師団の鎌田裕十郎医師（左）ら。「今後は生活物資が必要」とサハリンの被災地の現状を訴えた＝5日午後4時、北海道・函館市役所



サハラ
大地
地震

今後は生活物資必要

AMDA 1陣の医師3人帰国

ロシア・サハリン北部で発生した大地震で、ユジノサハリンスク市などで被災者の治療に当たったアジア医師連絡協議会（AMDA・菅波茂代表）の第一次医療チーム3人が五日午後、函館着のアエロプロート機で帰国した。

のため生活物資が特に必要だ」と語った。

帰国したのは、鎌田医師

のほか、三宅和久医師（三宅

岡山市、早川達也医師（三

）札幌市）の3人。

3人は先月三十日、抗生

物質など約百キの医薬品を

持参してチャーター機でユ

ジノサハリンスク市に向か

った。

死者1236人に

【モスクワ5日＝共同】

インタファクス通信によると、サハリン地震の被災地ネフチェゴルスクでの死者は、現地時間五日夜、一千二百三十六人（うち身元確認六百五十一人）に達した。ロシア政府筋の話として伝えた。

また、負傷者を含む生存者は一千八十七人が確認され、がれきの下にはなお六百五十四人がいるとみられる。

函館市役所で記者会見した同チーム団長の鎌田裕十郎医師（三宅）茨城県取手市）は「現地では、生きて発見される人は非常に少なくなってきた。助かった重傷の患者はオハヤユジノサハリンスクなどに運ばれた。今後は残った現地の人